

## 「出題の意図」・「解答例」

選抜区分	2024年度（選抜区分：学校推薦型選抜） 経済学部（科目名：小論文）
<p>今年度の学校推薦型選抜小論文では、伊藤芳浩著『マイノリティ・マーケティング——少数者が社会を変える』から一部を抜粋して課題文としました。この課題文は、障害者が社会生活において生きやすくなるためには、個人の努力や訓練には限界があるため、社会側での対応が必要であると、著者が主張している箇所です。平易な文章で書かれていますが、読解するためには、文章中の語句の意味を論理的に解釈する必要があります。</p>	
<p>設問1および設問2は、課題文の内容を十分に理解した上で、制限された字数内で簡潔に要約する力を試す設問です。課題文の中で展開されている論理を理解することが求められます。設問3は、課題文の内容を踏まえたうえで、自身の考えを文章で論理的に表現する力を試す設問です。</p>	
<p><b>設問 1.</b> 学校の場面で聴覚障害者にとってのウェルビーイングが損なわれる事態とその要因について、本文の説明を150字以内で要約しなさい。</p>	
<p><b>解答例</b></p>	
<p>聴覚障害者が学ぶ上で重要な、ノートテイクやパソコンテイク、手話通訳のような、情報入手やコミュニケーション支援である「情報保障」が十分でないことが、「学びの上での情報量の格差」の要因となっている。それによって、聴覚障害者は勉学に関する情報が十分に得られず、成績に影響を及ぼすという事態が生じている。(149字)</p>	
<p>この設問に対して適切に解答するためには、本文で説明されている「事態」と「要因」のそれぞれを説明しなければなりません。なお上記の解答例とは異なる「事態」と「要因」の対を本文から読み取ることもできます。</p>	
<p><b>設問 2.</b> 人々のウェルビーイングを損なう「障害」の捉え方について、本文では2つの考え方が紹介されている。それぞれ、どのような考え方を200字以内で説明しなさい。</p>	
<p><b>解答例</b></p>	
<p>第1に「障害の個人（医学）モデル」である。この考え方では、心身機能不全のために日常生活や社会生活に支障が出ていることを「障害」といい、障害があるのは個人であるとする。第2に「障害の社会モデル」である。この考え方では、この社会には、多様な人が存在しているが、その多様な存在に社会側が対応できないという不備・不具合があることを「障害」といい、障害があるのは社会であるとする。(187字)</p>	
<p>この設問に対して適切に解答するためには、本文中で説明される「障害の個人（医学）モデル」と「障害の社会モデル」のそれぞれに基づく「障害」の捉え方を説明しなければなりません。</p>	

**設問 3.** 障害者のウェルビーイングが損なわれる事態には、本文で挙げられている著者自身の経験を含む具体例以外で、どのようなものがあるか。またそのような事態が起こるのを防ぐための取り組みとはどのようなものか。筆者の主張を踏まえた上で、あなたの考えを 500 字以内で述べなさい。

#### 解答例 1

テレビや動画を配信するウェブサイトでは、聴覚障害者に対する情報保障の方法として、会話の内容を字幕という文字の形で伝えている。この方法は、合理的配慮の一つのやり方ではあるが、これだけでは、会話の情報が十分に得られているとは言い切れない。なぜなら会話は、文字の情報としての内容を知るだけでは不十分で、話し手の表情や身振り手振りに加え、声色と一緒に意味を持つからである。聴覚障害者にとって、表情や身振り等に含まれる情報は、画面から得ることができるが、話し声の大きさや速さといった声に関係する情報は、画面からも字幕からも得ることができない。つまり、聴覚障害者にとってのウェルビーイングは、字幕という配慮だけではまだ損なわれていると考えられる。

そこで、そういった声に関係する情報を、例えば大きな声には濃い色のように、色と関係づけて字幕と一緒に表示することで声色の情報も一緒に伝える仕組みを作ること提案する。こういった手段をとることで、聴覚障害者に対しても、聴者と同等の情報を提供することができ、得られる情報の差が生まれることを防ぐことができると期待される。(479 字)

#### 解答例 2

歩行が困難な車いすユーザーは、非日常的なアウトドア体験を楽しむことが困難なのではないだろうか。アウトドア体験を楽しむためのフィールドである海や山は、自然環境を保全するためにバリアフリー化されていない。多くの人にとっては、むしろ自然の不便さを楽しむことにアウトドア体験の価値があるのかもしれない。しかし、このことがアウトドア体験を希望する車いすユーザーにとって、社会的障壁となっており、アウトドア体験に興味をもつ車いすユーザーが参加をあきらめてしまうという事態が生じているのではないだろうか。

このような事態が起こることを防ぐための取り組みとして、パラリンピックのアスリートが使う車いすのように、耐久性と多様な機能を備えたアウトドア用車いすの普及促進を挙げる。アウトドア用車いすは通常の車いすと比べて高価であろうし、車いすユーザーが用途に合わせて何台もの車いすをもつことは難しいであろうから、手軽にレンタルできる仕組み作りが、その普及のために重要ではないかと考える。この取り組みは、全ての人が気兼ねなく楽しむことができるユニバーサルツーリズムの一環として、社会全体で進めて行く必要がある。(494 字)

この設問に対して適切に解答するためには、「ウェルビーイングが損なわれる事態」について、筆者の主張を正確に理解し、自身の経験や知識などを参考にして、自身の考えを挙げなければなりません。また、「そのような事態が起こるのを防ぐための取り組み」についても、自身で挙げた「事態」と対になるように、「防ぐための取り組み」を検討し説明しなければなりません。唯一の解答はなく、課題文と整合的な範囲で多様な解答が許容されます。設問に対して適切に論じていること、自身の考え方を適切に表現していることが大切です。